

令和4年度
第1回浜松市歯科保健推進会議



健康福祉部 健康増進課

令和4年度 第1回浜松市歯科保健推進会議

日時 令和4年7月21日（木）午後1時30分～

場所 浜松市口腔保健医療センター 会議室 A・B

次 第

I 開会

II 議題

- 1 令和3年度歯科口腔保健事業実績
- 2 口腔保健支援センター関連事業実績
- 3 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
- 4 歯科保健の推進に関する委員のご意見
- 5 令和4年度歯科保健事業計画

III その他

IV 閉会

浜松市歯科保健推進会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属
安藤 香澄	浜松民間保育園園長会 理事
池谷 志保	特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 理事
磯部 智明	一般社団法人 浜松市医師会 副会長
稲川 弘子	ヘルスポランティア活動連絡会
小田 史子	浜松市手をつなぐ育成会 副会長
北村 庄吾	浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長
木村 裕一	一般社団法人 浜松市歯科医師会 会長
才川 隆弘	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長
欠 澤井 康行	一般社団法人 浜松市薬剤師会 副会長
村上 祐介	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長

◎ 会長

○ 会長職務代理者

任期：令和4年4月1日から、令和7年3月31日まで

【事務局】

鈴木 達夫	健康福祉部 医療担当部長（口腔保健支援センター長）
平野 由利子	健康福祉部 健康増進課長
渥美 雅人	健康福祉部 健康増進課長補佐
伊藤 梓	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 所長
井川 昌代	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副主幹
戸谷 由里	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副技監

【関係課等】

久保田 尚宏	健康福祉部 障害保健福祉課長
鈴木 博	健康福祉部 高齢者福祉課 医療・介護推進担当課長
加藤 浩二	健康福祉部 介護保険課長
竹村 吉弘	健康福祉部 国保年金課長
板倉 称	健康福祉部 参与
島 和之	健康福祉部 健康医療課長
井川 宜彦	こども家庭部 幼児教育保育課 幼児教育指導担当課長
富部 哲也	学校教育部 健康安全課長
松田 のり子	中区 健康づくり課長
枝村 賢美	東区 健康づくり課長
鈴木 香賀	西区 健康づくり課長
大西 敏巳	南区 健康づくり課長
幸田 昭彦	北区 健康づくり課長
金原 由直	浜北区 健康づくり課長
野沢 和好	天竜区 健康づくり課長

II 議題

1 令和3年度歯科口腔保健事業実績

(1) 全区実績

事業名	令和3年度		令和2年度		前年比	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数

ア 妊娠期・乳幼児期

妊婦歯科健康診査		2,571人		2,503人		68人
歯科相談（全年齢）	53回	6人	7回	0人	46回	6人
電話相談		83人		134人		△ 51人
1歳6か月児歯科健康診査	184回	5,604人	107回	5,747人	77回	△ 143人
2歳児歯科健康診査	95回	876人	8回	85人	87回	791人
2歳児歯科健康診査【後期】	95回	452人	8回	130人	87回	322人
3歳児歯科健康診査	42回	4,865人	20回	6,065人	22回	△ 1,200人
フッ化物洗口（幼稚・保育・こども園）	105園	3,848人	103園	4,691人	2園	△ 843人
かむかむ元気教室（幼稚・保育・こども園）						
DVD+紙芝居貸与等を含む	146園	7,128人	176園	10,242人		
歯科健康教育（母子）	64回	875人	19回	368人	45回	507人
もぐもぐ元気っ教室（個別含む）	22回	361人	0回	0人	22回	361人
口を育む教室	43回	585人	-	-	-	-
親子すこやか相談	111回	320人	15回	29人	96回	291人
歯と口の健康週間事業（総参加者数）	中止	-	中止	-	-	-

イ 学齢期

学校歯科健康診断		60,840人		60,677人		163人
歯科健康教育（小・中・高等学校）	14回	689人	10回	480人	4回	209人

ウ 成人期

ママのための生活習慣病予防教室	4回	58人	0回	0人	4回	58人
歯周病検診		5,503人		5,541人		△ 38人
成人歯科健康教育	6回	97人	24回	503人	(同)	△ 406人
市民公開講座（*YouTube配信による推定視聴人数を含む）	2回	480人	1回	69人	(同)	411人

エ 高齢期

成人歯科健康教育	56回	938人	36回	759人	20回	179人
口腔機能向上支援事業	38回	679人	7回	129人	31回	550人
歯科訪問診査		50人		45人		5人
健康長寿のための口の健康づくり訪問		9人	-	-	-	-
訪問歯科相談（全年齢）	1回	1人	17回	17人	△16回	△ 16人

オ 障がい者の歯科

心身障がい者（児）歯科診療	143日	989人	137日	996人	6回	△ 7人
障がい者施設歯科健診	52施設	1,067人	2施設	26人	50回	1,041人

カ 状況に応じた歯科口腔保健医療

休日救急歯科診療	72日	967人	72日	824人	0日	143人
----------	-----	------	-----	------	----	------

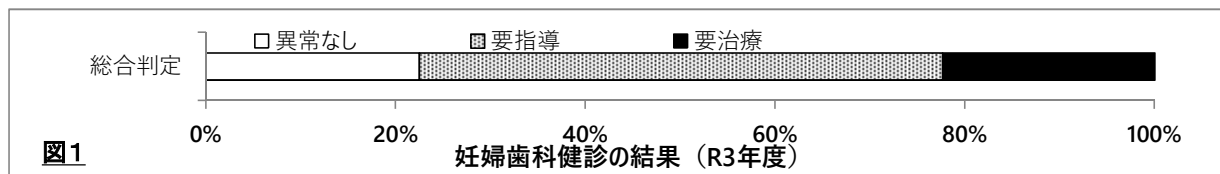
(2) 各事業別詳細報告

ア 妊娠期・乳幼児期

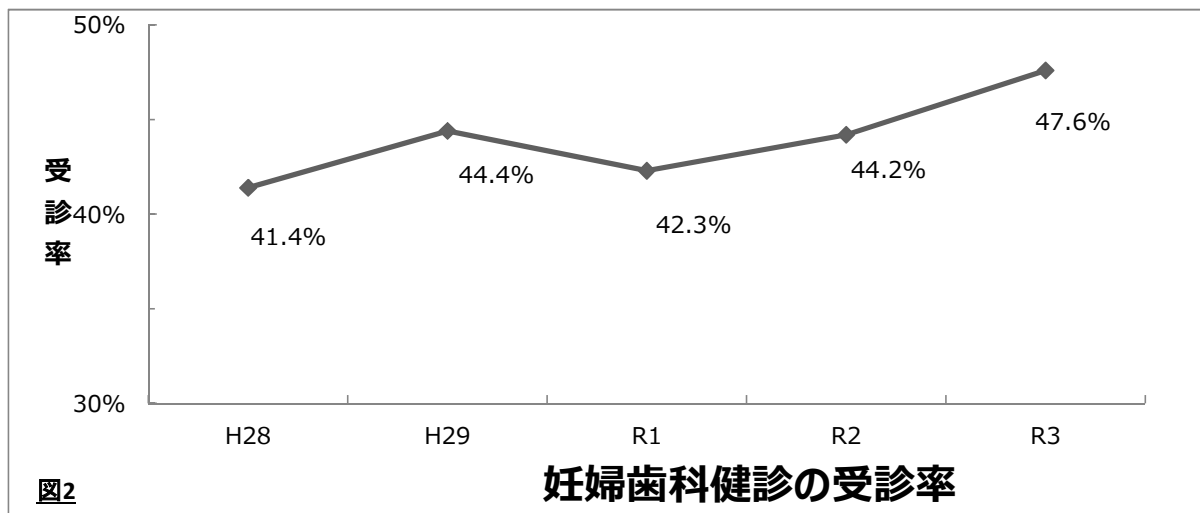
(ア) 妊婦歯科健康診査

・妊婦（主に妊娠16～31週）を対象に健康診査と歯科保健指導を実施（個別健診：委託）

		浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数		5,401人	1,710人	1,099人	587人	728人	526人	688人	63人
受診者数		2,571人	852人	507人	287人	333人	240人	329人	23人
受診率		47.6%	49.8%	46.1%	48.9%	45.7%	45.6%	47.8%	36.5%
定期的な歯科検診の受診率		38.9%	41.0%	32.5%	42.9%	37.5%	40.8%	40.4%	34.8%
歯間部清掃器具使用率		47.3%	47.9%	44.2%	50.5%	47.4%	48.3%	46.8%	52.2%
むし歯のある者の割合(有病者率)		36.6%	35.4%	40.4%	34.1%	38.7%	35.4%	34.0%	47.8%
一人平均未処置むし歯数		1.0本	1.0本	1.2本	1.0本	1.2本	0.8本	0.9本	1.1本
歯石沈着者率		74.4%	74.1%	76.7%	72.8%	77.2%	69.2%	75.4%	52.2%
歯周疾患	なし	653人	239人	125人	66人	74人	75人	66人	8人
	歯肉炎	888人	264人	184人	112人	130人	83人	110人	5人
	歯周炎	1,030人	349人	198人	109人	129人	82人	153人	10人
	要治療(%)	40.1%	41.0%	39.1%	38.0%	38.7%	34.2%	46.5%	43.5%
総合判定	異常なし	578人	213人	115人	64人	62人	49人	66人	9人
	要指導	1,418人	436人	296人	150人	205人	139人	180人	12人
	要治療	575人	203人	96人	73人	66人	52人	83人	2人
	要治療(%)	22.4%	23.8%	18.9%	25.4%	19.8%	21.7%	25.2%	8.7%



・要治療の者の割合は、西区、浜北区、中区で高かった。



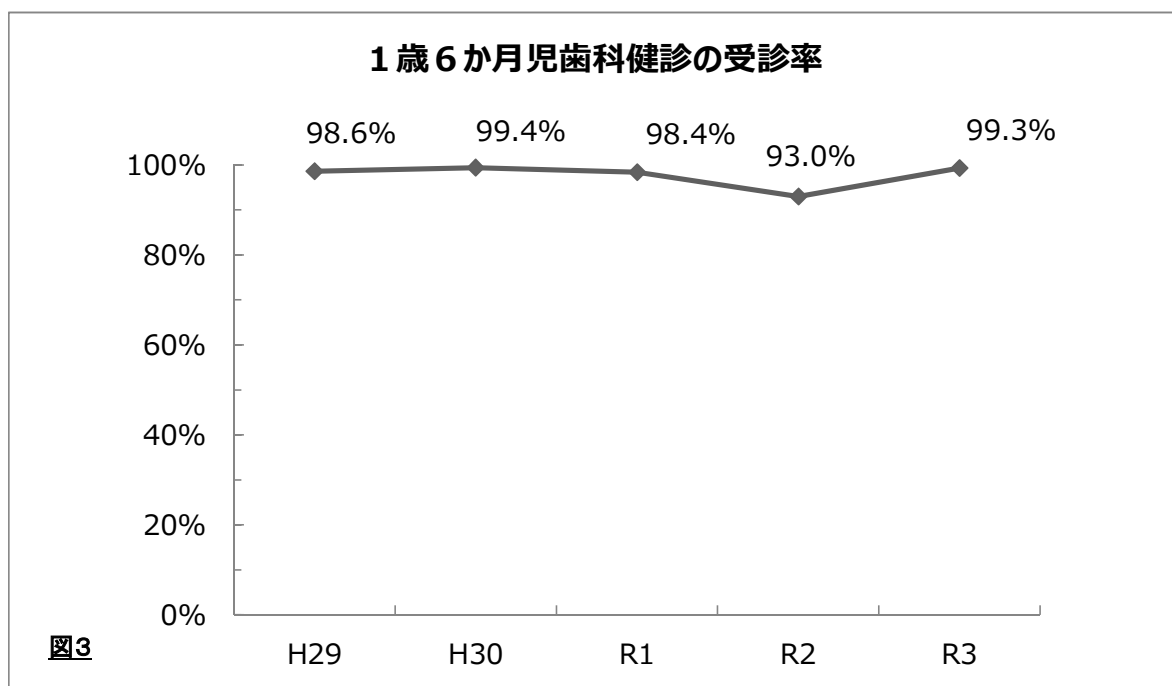
令和3年度の受診率は全市で47.6%。

(イ) 1歳6か月児歯科健康診査

・1歳6か月～8か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,645人	1,730人	1,058人	688人	713人	573人	801人	82人
受診者数	5,604人	1,716人	1,043人	685人	711人	572人	795人	82人
受診率	99.3%	99.2%	98.6%	99.6%	99.7%	99.8%	99.3%	100.0%
むし歯のない者	5,570人	1,700人	1,036人	683人	706人	571人	792人	82人
むし歯のある者	34人	16人	7人	2人	5人	1人	3人	0人
むし歯のある者（有病者率）	0.6%	0.9%	0.7%	0.3%	0.7%	1.0%	0.4%	0.0%
未処置歯数の合計（C）	117本	56本	20本	11本	21本	1本	8本	0本
処置歯数の合計（O）	3本	0本	0本	2本	0本	1本	0本	0本
要観察歯数の合計（CO）	274本	64本	74本	37本	51本	25本	23本	0本
一人平均むし歯数（C+O）	0.02本	0.03本	0.02本	0.02本	0.03本	0.00本	0.01本	0.00本
一人平均要観察歯（CO）数	0.05本	0.04本	0.07本	0.05本	0.07本	0.04本	0.03本	0.00本
軟組織の異常	639人	270人	108人	86人	89人	41人	44人	1人
不正咬合	636人	220人	116人	75人	79人	63人	65人	18人

・むし歯がある者の割合は0.6%程度である。



・令和2年度は受診率が下がったが、令和3年度は回復した。

(ウ) 2歳児歯科健康診査

・2歳0か月～11か月の児を対象に、歯科健康診査を実施（集団健診）

【令和3年度の特殊事情】

・新型コロナウイルス感染症のため、完全予約制とした。

2歳0か月～5か月の児

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,636人	1,674人	1,058人	677人	744人	626人	761人	96人
受診者数	880人	238人	160人	109人	134人	81人	126人	32人
むし歯のある者	5人	3人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
むし歯のある者(有病者率)	0.6%	1.3%	0.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
一人平均要観察歯(CO)数	0.05本	0.01本	0.01本	0.08本	0.10本	0.14本	0.00本	0.13本
要観察歯がある者(CO者率)	1.5%	0.8%	1.4%	1.8%	3.3%	2.6%	0.0%	3.0%

2歳6か月～11か月の児

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,872人	1,720人	1,059人	741人	784人	653人	814人	101人
受診者数	446人	118人	75人	72人	66人	43人	54人	18人
むし歯のある者	3人	2人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
むし歯のある者(有病者率)	0.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
一人平均要観察歯(CO)数	0.05本	0.03本	0.01本	0.15本	0.00本	0.09本	0.07本	0.00本
要観察歯がある者(CO者率)	2.0%	1.6%	1.4%	5.3%	1.9%	2.1%	0.0%	0.0%

(工) 3歳児歯科健康診査

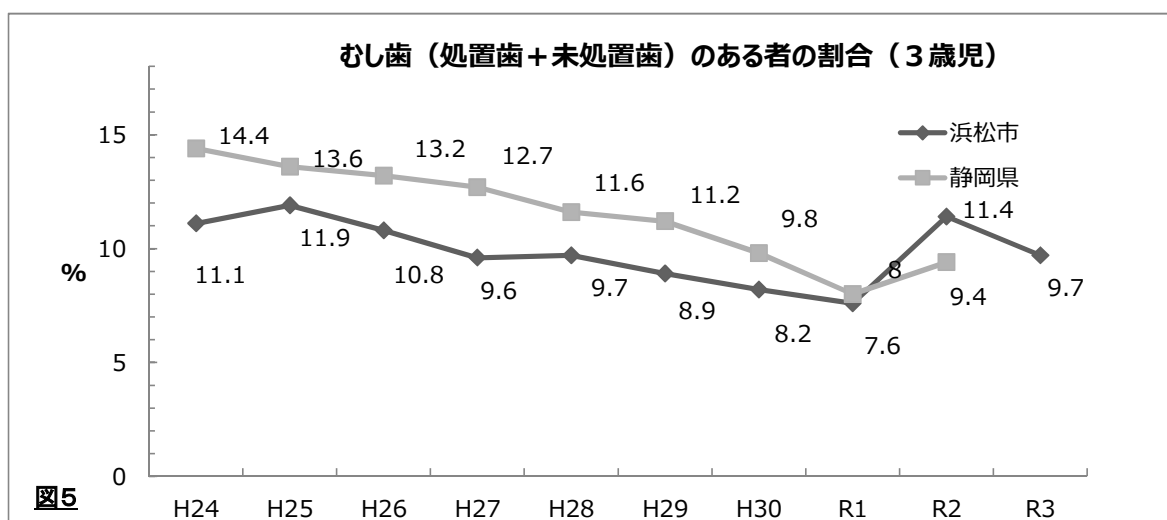
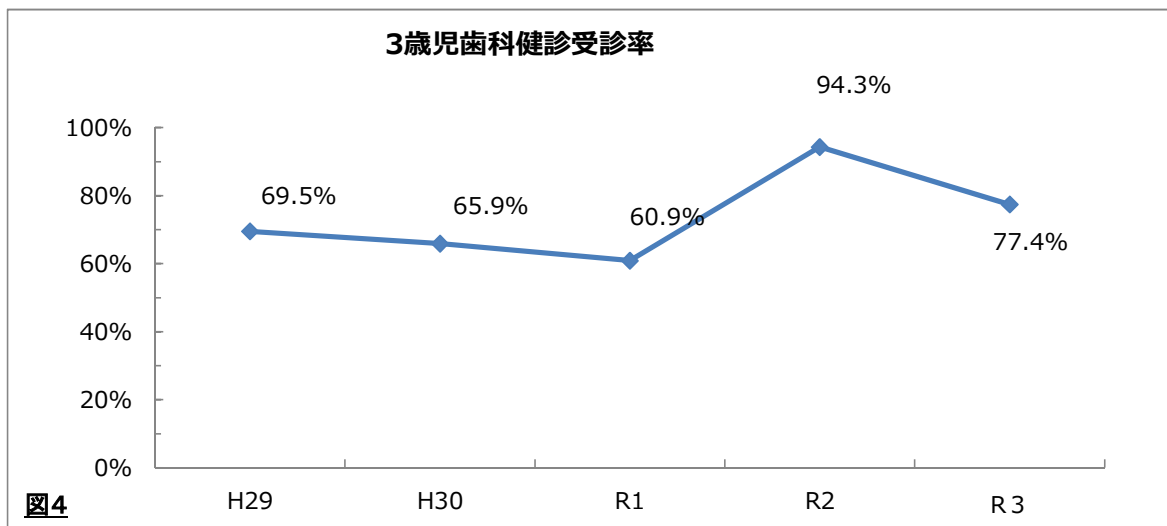
・3歳0か月～11か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診を個別健診に振替えて実施）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	6,282人	1,871人	1,151人	777人	824人	685人	861人	113人
受診者数	4,865人	1,401人	837人	552人	593人	481人	888人	113人
受診率	77.5%	74.9%	72.7%	71.0%	72.0%	70.2%	103.1%	100.0%
むし歯のない者	4,393人	1,275人	743人	500人	524人	419人	825人	107人
むし歯のある者	472人	126人	94人	52人	69人	62人	63人	6人
むし歯のある者(有病者率)	9.7%	9.0%	11.2%	9.4%	11.6%	12.9%	7.1%	5.3%
むし歯の数	1,439本	397本	308本	168本	204本	175本	177本	10本
うち(未処置歯)	(1131本)	(305本)	(246本)	(123本)	(172本)	(121本)	(157本)	(7本)
(処置歯)	(308本)	(92本)	(62本)	(45本)	(32本)	(54本)	(20本)	(3本)
一人平均むし歯数	0.30本	0.28本	0.37本	0.30本	0.34本	0.36本	0.20本	0.09本
うち(未処置歯)	(0.23本)	(0.22本)	(0.29本)	(0.22本)	(0.29本)	(0.25本)	(0.18本)	(0.06本)
(処置歯)	(0.06本)	(0.07本)	(0.07本)	(0.08本)	(0.05本)	(0.11本)	(0.02本)	(0.03本)
一人平均要観察歯(CO)数	0.21本	0.20本	0.23本	0.21本	0.29本	0.27本	0.13本	0.12本
軟組織の異常	189人	58人	35人	32人	33人	17人	14人	0人
不正咬合	1005人	327人	172人	117人	149人	115人	110人	15人

・むし歯がある者の割合は9.7%（473人）と前年の12.1%から2.4ポイント、減少した。

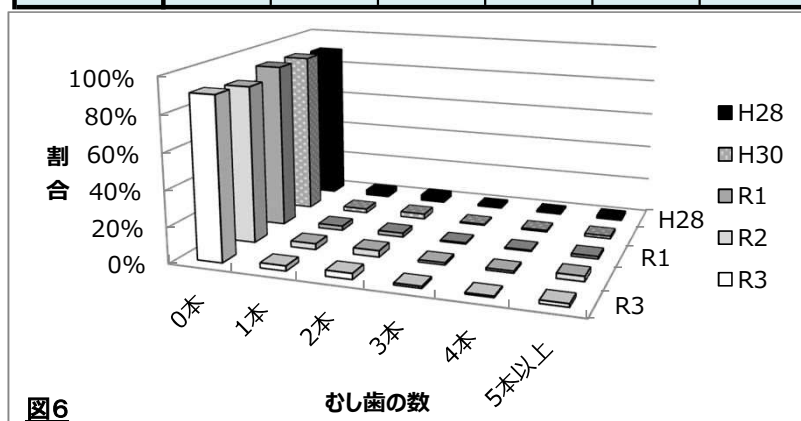
・医科との集団健診である浜北、天竜区の受診率は変動がないが、それ以外の区の受診率は増加している。

<参考> 令和2年度は、4歳児も受診できることとしたため過年度との単純比較はできない。



むし歯(処置歯+未処置歯)のある者の割合（3歳、浜松市）

	むし歯の本数					
	0本	1本	2本	3本	4本	5本以上
H28	90.0%	3.0%	3.4%	1.1%	1.0%	1.5%
H30	91.8%	2.3%	2.9%	0.6%	0.9%	1.5%
R1	92.4%	2.5%	2.3%	0.7%	0.6%	1.4%
R2	87.8%	3.3%	3.6%	1.2%	1.1%	2.9%
R3	90.3%	2.8%	3.3%	1.0%	0.7%	1.8%



(参考) 他政令市との比較

令和2年度

1歳6か月児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	5747人	6182人	93.0%	1.0%
静岡市	4653人	4881人	95.3%	1.1%
相模原市	5181人	4626人	89.3%	1.1%
静岡県	25128人	26050人	96.5%	0.9%
全国	851951人	913235人	93.3%	1.1%

3歳児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	6,065人	6431人	94.3%	12.1%
静岡市	5118人	5347人	95.7%	10.0%
相模原市	5187人	5670人	91.5%	10.4%
静岡県	26733人	27608人	96.8%	9.4%
全国	874377人	933763人	93.6%	11.8%

* 令和2年度は新型コロナのため、4歳児が含まれる。

令和元年度

1歳6か月児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	6244人	6343人	98.4%	0.8%
静岡市	4299人	4651人	92.4%	0.6%
相模原市	4298人	4722人	91.0%	0.7%
静岡県	24650人	25349人	97.2%	0.8%
全国	860447人	918994人	93.6%	0.9%

3歳児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	4018人	6598人	60.9%	7.6%
静岡市	4602人	5070人	90.8%	8.5%
相模原市	5004人	4590人	91.7%	11.9%
静岡県	23715人	27110人	87.5%	8.1%
全国	860447人	918994人	93.5%	11.9%

(オ) 令和3年度 フッ化物（フッ素）洗口実施施設数

	区分	施設の 総数	実 施 施設数	洗口回数別 施設数	
				週5回	週1回
保育所	公立	20園	20園	19園	1園
	私立	43園	20園	19園	1園
幼稚園	公立	60園	12園	11園	1園
	私立	43園	9園	5園	4園
こども園		69園	44園	43園	1園
計		235園	105園	97園	8園

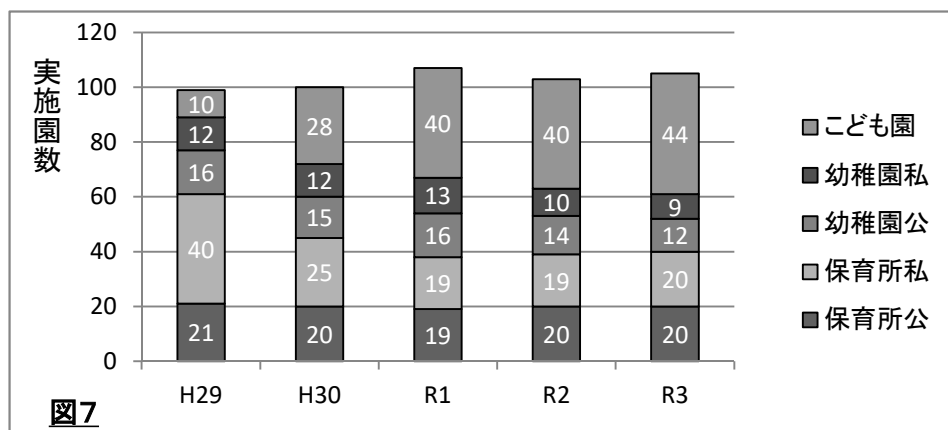


図7

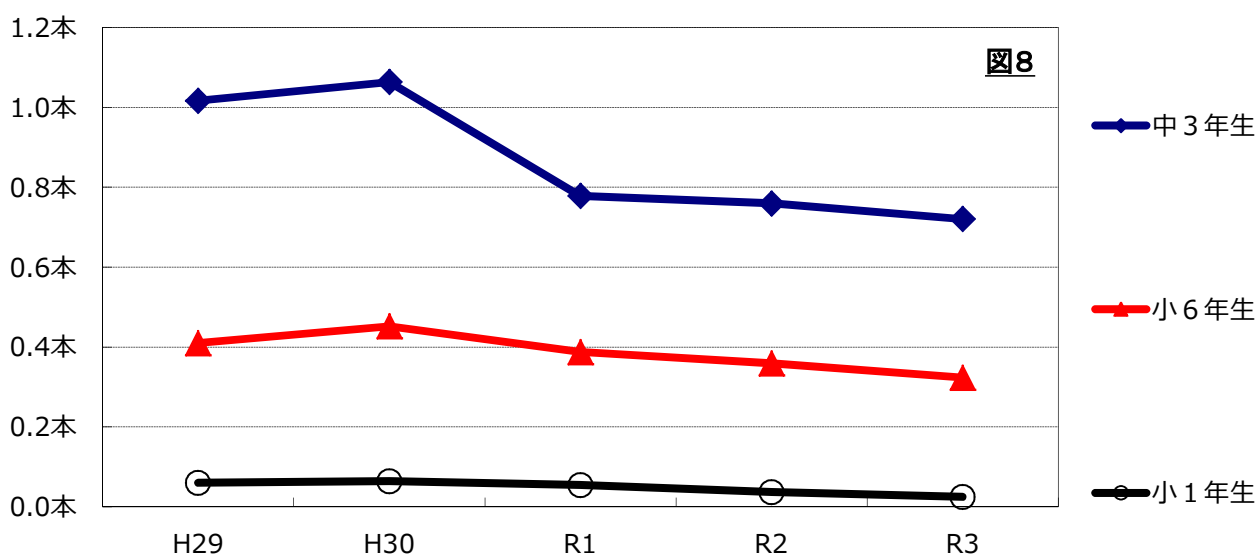
イ 学齢期

(ア) 学校歯科健康診断（健康安全課）

小学生・中学生一人平均むし歯本数

学年	むし歯本数(永久歯)			
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
小学1年生	0.0本	0.0本	0.1本	0.1本
小学2年生	0.1本	0.1本	0.1本	0.1本
小学3年生	0.1本	0.2本	0.2本	0.2本
小学4年生	0.2本	0.2本	0.2本	0.2本
小学5年生	0.3本	0.3本	0.3本	0.3本
小学6年生	0.3本	0.4本	0.4本	0.5本
中学1年生	0.4本	0.5本	0.5本	0.5本
中学2年生	0.5本	0.6本	0.7本	0.7本
中学3年生	0.7本	0.8本	0.8本	1.1本

・前年度と比較すると、むし歯の本数はほぼ横ばいである。



小学生・中学生の一人平均むし歯本数の推移

ウ 成人期

(ア) 歯周病検診（30歳以上）

・対象：30歳以上（うち、30歳から70歳の5歳刻みで受診券を送付）

		浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
受診者数		5,503人	1,592人	916人	696人	832人	631人	702人	134人
定期的に歯科受診をしている割合		38.6%	39.4%	36.9%	38.7%	37.8%	41.8%	36.4%	38.6%
総合判定	異常なし	526人	137人	114人	126人	60人	56人	24人	9人
	要指導	1,968人	585人	310人	226人	292人	230人	292人	33人
	要治療	3,009人	870人	492人	344人	480人	345人	386人	92人
	要治療(%)	54.7%	54.6%	53.7%	49.4%	57.7%	54.7%	55.0%	68.7%

・受診者数は、令和2年度(5541人)と同程度だった。

・要治療の者の割合は54.7%と、過年度と同程度だった。

【受診率】

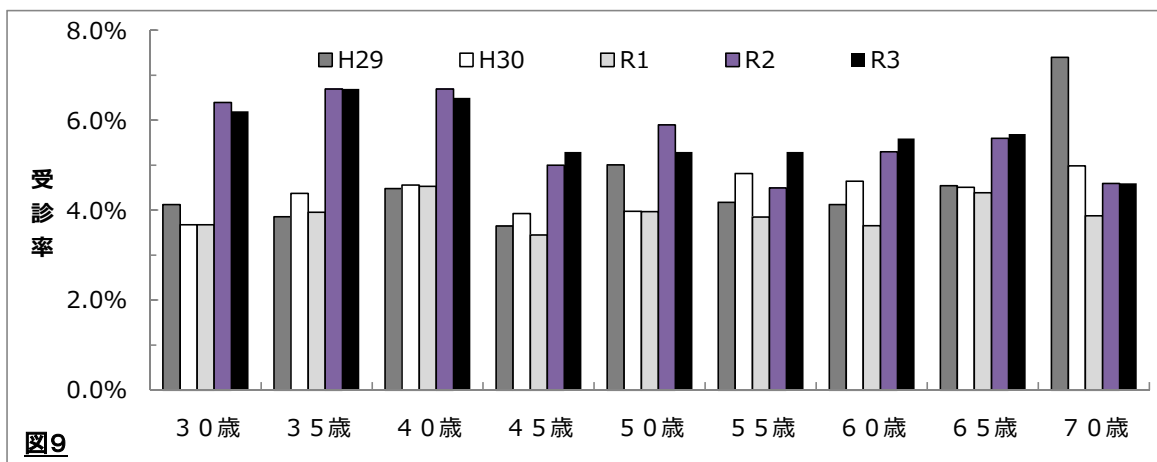


図9

	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
H29	4.1%	3.9%	4.5%	3.7%	5.0%	4.2%	4.1%	4.6%	7.4%
H30	3.7%	4.4%	4.6%	3.9%	4.0%	4.8%	4.7%	4.5%	5.0%
R1	3.7%	4.0%	4.5%	3.5%	4.0%	3.9%	3.7%	4.4%	3.9%
R2	6.4%	6.7%	6.7%	5.0%	5.9%	4.5%	5.3%	5.6%	4.6%
R3	6.2%	6.7%	6.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.6%	5.7%	4.6%

(イ) 市民公開講座（浜松市歯科医師会に委託）

R3.4.18 「防災と口腔ケアについて」

参加者：64人

R3.11.7 「マイナス1歳からのオーラルフレイル予防」

参加者：23人 * Web視聴者を除く。

エ 高齢期

(ア) 口腔機能向上普及啓発事業（高齢者福祉課）

・市内で活動するサロン等の65歳以上の高齢者の団体を対象に、歯科衛生士が口腔機能向上のための集団指導を実施

年度	実施回数	受講人数
令和3年度	19団体	679人
令和2年度	7団体	129人
令和元年度	21団体	545人

(イ) 歯科訪問診査

・在宅療養者に対して、歯科医師が家庭に訪問して、健診、保健指導を実施

受診者の状況

状況	実人数
介助で 車イス	15人
寝たり 起きたり	14人
自力で 車イス	3人
室内自立	7人
自力で 寝返り可	4人
自力で 寝返り不可	7人
計	50人

診査結果の内訳（実人数：50人）

		延べ人数
診査結果	要訪問診療	31人
	要通院診療	14人
	要高次医療機関受診	0人
	処置不要	5人
指導事項	歯口清掃指導	37人
	義歯の取扱指導	15人
	食事指導	6人
	その他	3人
対応方針	訪問診療	30人
	通院診療	13人
	高次医療機関受診	2人
	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導	0人
	その他	6人

オ 障がい者の歯科

(ア) 障がい者施設歯科健診

- ・生涯を通じて歯や口の機能を維持するのに効果的な「かかりつけ歯科で定期管理を受ける習慣」を普及啓発するために、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設を訪問して歯科健診を実施。

かかりつけ歯科がある者の割合

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
受診施設数		52 施設	2 施設	58 施設
受診者数 総数		1,067 人	26 人	1,423 人
	男性	660 人	13 人	956 人
	女性	407 人	13 人	467 人
平均年齢		40 歳	32 歳	36 歳
「かかりつけ歯科医あり」の者の割合 ^(注1)		79.1%	76.9 %	81.3 %
「過去1年間に歯科受診あり」の者の割合 ^(注2)		56.2%	73.1 %	68.7 %
【参考】「過去1年間に歯科受診あり」のうち、「定期受診あり」の割合 ^(注3)		56.1%	73.1 %	58.7 %

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため集団歯科健診を見合わせた時期があるため、過年度よりも受診者が少なかった。

(注1)～(注3) 該当者数(有効回答数)

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
(注1)	844人	(1066人)	20人	(26人)	1,157人	(1,417人)
(注2)	600人	(1064人)	19人	(26人)	978人	(1,371人)
(注3)	599人	(1064人)	19人	(26人)	836人	(1,311人)

2 令和3年度 口腔保健支援センター関連事業実施報告

(1) 口腔ケア普及推進事業

- ・介護福祉サービス事業所職員を対象に、日常生活での口腔ケア技術の実習
- ・市内事業所2か所（計18人）

(2) 障がい者歯科連携推進事業

- ・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修と解説、及び知識の講義
- ・実地研修8回、参加者延べ139人（実人数46人）
- ・外部講師による講演

令和4年3月17日（木）

静岡こども病院 加藤 光剛歯科医師

「地域で支える障害者歯科」を開催

19人参加

(3) 研修会等

「フッ化物洗口説明会」4/27、5/17

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員34人
- ・フッ化物洗口についての研修

「歯みがき指導研修会」：5/14、5/19

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員58人
- ・内容 歯みがき指導の仕方について

「要介護者口腔ケア実践研修会」：6/29

- ・参加者 介護保険サービス提供事業者26人
- ・内容 口腔ケアに関する知識及び実技の研修

「歯科保健事業従事者感染防止研修」：10/20

- ・参加者 歯科保健事業に従事する歯科衛生士43人
- ・内容 新型コロナウイルス感染症の罹患状況、スタンダードプレコーション等

「障がい者施設歯科健診事業説明会」：12/3、12/8

- ・参加者 障害福祉サービス事業者56施設
- ・内容 かかりつけ歯科の重要性について普及啓発

「健康教育研修」：12/22

- ・参加者 各区行政保健担当歯科衛生士 12 人
- ・内容 実施者も参加者も楽しい、自分を振り返る参加型健康教育について

「介護・訪問診療交流事業」：3/24

- ・参加者 介護事業所職員 2 名、歯科医師会会員 2 名

(4) 口腔保健支援センター連絡会議

- ・実施日 7/1、3/3
- ・参加者 浜松市歯科医師会 理事等
浜松市：健康増進課、障害保健福祉課、高齢者福祉課、介護保険課、
国保年金課、健康医療課、幼児教育保育課
学校教育部：健康安全課
- ・内容 歯科保健推進に関する実務レベルの意見交換

(5) 歯科口腔保健推進に関する啓発

- ・「歯と口の健康週間」において街頭 PR 活動
 - ・「いい歯の日」前後において、企業に啓発資料等を配布
- GO TO デンタル活動から Go Go デンタル活動に名称を変更。GO TO デンタル時に行ったアンケート調査の結果、「浜松市の歯周病健診の制度を知らない」と回答した割合が 38.5%だったことから、企業に赴き、歯周病健診の受診券発券申し込みを受けるなどの活動を積極的に行った。

(6) 健康長寿のための口の健康づくり訪問

- ・後期高齢者医療広域連合の実施する高齢者健康診査の質問票から、口の機能低下が疑われ、かつ、前年度に歯科を受診した記録がない者（令和 3 年 3 月 31 日時点の年齢が 69～79 歳になる者 323 人）を対象として、歯と口の健康状態を把握するためのアンケートを実施し、希望があれば居宅等を訪問して、歯科受診の勧奨や歯科保健指導を行った。
- ・令和 3 年度は、令和 4 年度からの本格的な実施に向けた準備期間と位置づけ、試行的に実施した。

(7) オーラルフレイルに関するアンケート調査

広聴モニターを対象に、オーラルフレイルの認知度調査を実施した。

3 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(1)生涯にわたる歯科口腔保健対策

1) 妊娠期・乳幼児期

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	妊婦の歯科健診	妊婦	・妊婦の歯科健診、歯科保健指導を実施する。	・妊娠届出時に受診票を配布し、受診希望者は、委託医療機関で受診。 ・受診率：47.6% ・定期的な歯科健診の受診率：38.9%	・妊娠届出時の保健指導など、妊婦とのかかわりの中で、引き続き、受診勧奨に努める。
	幼児の歯科健診	1歳6か月児 2歳児 3歳児	・歯科健康診査を実施し、希望者にフッ化物を塗布する。	・歯科健診を実施。 ・かかりつけ歯科医での定期管理の重要性を普及啓発。 ・1.Y.O：99.3% 2.Y.O:11.6% 3.Y.O:77.5% ・3歳児のうち蝕有病者率は9.7%（全国12.1%）	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。
	フッ化物洗口	幼児	・幼稚園、保育所、こども園にてフッ化物洗口を実施する。	・約半数の施設（105施設/235施設）で実施。	・実施施設は、毎年増加している。引き続き、幼・保育園長会等にて事業説明を行い、実施施設数の増加に努める。
	母子の健康教育	乳幼児 保護者	・フッ化物利用による蝕予防を普及啓発する。 ・噛むことの大切さや望ましい食習慣の定着を目指した働きかけを行う。	・各幼児教育・保育施設での健康教育は、少しずつ再開。昨年度のDVD貸与に加え、紙芝居の貸与や、実際に園での実施など行った。 ・64回 875名参加（貸与実績も含む）	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 ・対象となる園の状況に合わせ、様々な実施方法を考える。
幼児教育・ 保育課	幼稚園・保育所における 歯科保健の推進	園児	・定期健康診断で歯科健診を実施する。 ・歯と口の健康づくりや歯磨き方法について学ぶ機会を設ける。 ・日々の生活の中で、食後の歯磨き、口ゆすぎ等に取り組み、良い習慣を身に付けられるよう援助をする。 ・よくかんで食べるように指導する。	・歯科健診を通して、園児が自分の歯と口の健康状態を知り、むし歯の予防に対する関心が高まるようにした。 ・園児が自分の歯と口の健康を保つための態度や習慣を楽しく身に付けられるよう、各園において教材を工夫したり口腔保健医療センターの貸出用DVDを視聴したりして、学ぶ機会を設けた。 ・発達段階に応じた正しい歯の磨き方や口のゆすぎ方等を指導した。 ・食育活動の一環として、保護者が食への理解を深め、口腔機能の発達に応じた食事を作ることや子供と一緒に食べることの喜びをもてるような啓発に努めた。（市立保）	・歯科健診結果の通知や「歯と口の健康週間」の活動を通し、歯と口の健康の大切さを親子で身近なこととして受け止められるようにする。 ・乳幼児における歯科保健の大切さについて、保護者の理解を深められるような場を工夫する。（DVDの活用） ・食後の歯磨きや口ゆすぎの習慣化を図る。 ・乳幼児期における望ましい食習慣の定着を目指し、園の食育活動の充実を図るとともに、家庭への具体的な啓発に努める。

2) 学齢期

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
健康安全課	学校における 歯科保健の推進	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断で歯科健診を実施。 ・教育活動において、歯の必要性・大切さを含め、むし歯や歯周病の予防について指導。 ・歯を清潔に保つため歯みがきを習慣化させ、自分で自分の歯やからだを意識的に守らせるという観点から昼食後の歯みがきの習慣化を目指す。 ・むし歯の多い子どもについては、学校歯科医の助言を受け、健診後、個別の保健指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断では、学校歯科医と連携を図り、健康診断の結果をもとに、むし歯や歯周病の予防について指導。 ・自分で自分の歯やからだを守る意識につなげるため、「歯と口の健康週間」を啓発し、歯みがきの習慣化の定着に努めた。 さらに学校では、むし歯の多い児童・生徒には保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の保健指導に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の結果をもとに、学校歯科医と連携を図り、むし歯や歯周病の予防について指導していく。 ・自分で自分の歯を守る意識を高めるため「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化を図る。 ・むし歯の多い児童・生徒には、保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の指導に努める。
健康安全課	学校における 食育について	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭・学校栄養職員等を中心とし、よくかんで食べることを意識した献立を作成する。 ・教職員と連携・協力し、食に関する指導体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を立案、実施 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を立案。 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導。 ・「歯と口の健康週間」がある6月には、骨や歯を丈夫にするカルシウムを多く含む食品、あごを強くするために、よくかんで食べる食品を多く取り入れていく。

3) 成人期

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の 市民	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診、保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診者数：5503人（高齢期含む） ・30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施。 ・受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度に実施したアンケートで38.5%が歯周病健診の制度を知らない、と回答。歯周病健診の周知に引き続き取り組んでいく。
	健康教育	市民 企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民団体や健康保険組合等に健康教育の実施を案内し、希望のある団体の活動の場や事業所で健康教育を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取り組む。
	健康教育等	市民 企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松ウエルネス推進協議会の事業所や健康はままつ21推進団体に歯周病検診について普及啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育に対しては、動画での配信を希望される企業が多く、動画媒体の健康教育資料を作成し、視聴を依頼した。 ・取組に興味を示す企業に赴き、歯周病検診の受診券発行の申し込みを受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病検診に関する普及啓発に努める。特に、事業所に対して働きかけを強化する。
高齢者 福祉課	市民公開講座	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科、口腔ケア等に関する内容の市民向け講演会等の実施を委託 	<ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座を2回実施 ・令和3年4月18日「防災と口腔ケアについて」参加者数：64人 ・令和3年11月7日「マイナス1歳からのオーラルフレイル予防」（WEB配信あり） 参加者数：23人 ※WEB視聴者数は除く 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、幅広く市民に歯科・口腔ケアについて知っていただく機会として実施していく。
国保年金課	生活習慣病重症化 予防	市民	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病対策の一環として、歯科疾患予防を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診者で医療機関への受診勧奨通知対象者のうち喫煙者に対し、歯周病に関する啓発ちらしを発送 発送件数：77件 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病対策の一環として、今後も歯周病について啓発していく。

4) 高齢期

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の市民	・歯科健診、保健指導を実施する。	・受診者数：5503人（高齢期前の成人期を含む） ・30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施。 ・受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送。	・今後も受診率向上のため、啓発を継続していく。
	健康教育	高齢者	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施。	・引き続き、事業ならびにオーラルフレイルの概念の周知に努める。
	口腔ケアの普及啓発	介護保険事業所	・介護事業所に対し、口腔ケアの重要性や効果などを普及啓発する。	・通所の介護事業所に対し、訪問して普及啓発を実施。	・引き続き、事業の周知に努め、介護事業所において口腔ケアの関心を高めていく。
	歯科訪問診療の普及	介護保険事業所 歯科診療所	・介護事業所と歯科診療所とが顔の見える関係を構築するための支援を行う。	・地域包括支援センターおよびケアマネジャー事業所と、歯科診療所の担当者との意見交換会を実施。	・今後、どのような対策が有効なのかを介護事業所ならびに歯科診療所と協議していく。
	歯科受診勧奨	高齢者	・歯科医療機関への受診勧奨をする。	・求めがあった高齢者等に訪問して歯科相談を実施。	・介護予防と保健事業の一体的実施に向け、対象を拡大して試行する。
	歯科訪問診査	通院困難な者	・居宅等で療養し通院しての歯科診療が困難と目される者に対し、求めに応じて訪問して歯科健康診査を行う。	・市民の訪問希望を浜松市が受付、歯科医師会に訪問診査を依頼。	・事業の周知に努める。
高齢者福祉課	口腔機能向上普及啓発事業	高齢者	・虚弱な高齢者を対象に、口腔機能向上及び口腔ケアについての正しい知識や技術を普及啓発することで、介護予防を推進する。	・市内の元気はつらつ教室のうち指定した4教室の参加者を対象に、歯科衛生士による講座を実施。後期高齢者質問票を活用し、1教室につき2回の講座を開催した。（実施延回数：19回、受講延人数：679人）	・R4年度も市内の元気はつらつ教室から4教室を指定し講座を実施。R5年度以降は全市にむけての展開方法を検討中。
高齢者福祉課	地域包括ケアシステム推進連絡会	医療・介護・福祉等の関係者	円滑な地域包括ケアシステムの推進を図るため、歯科医師を含めた医療関係者と介護関係者等との会議を開催する。	・連絡会本会の開催 年2回。各部会に歯科医師が参加し、医療と介護の連携についての課題解決に向けて他の専門職種と検討していく。 ・「知って得するお出かけ講座」による地域住民への歯科や口腔ケアについての啓発を継続していく。	・連絡会本会の開催 年2回。各部会に歯科医師が参加し、医療と介護の連携についての課題解決に向けて他の専門職種と検討していく。 ・「知って得するお出かけ講座」による地域住民への歯科や口腔ケアについての啓発を継続していく。

5) 障がい者の歯科

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	障がい者歯科保健医療システムの充実	・歯科医療関係者	・かかりつけ歯科での定期管理が行える体制の構築を目標として、歯科診療所、医療センター、口腔保健医療センターとの意見調整を行う。	・連絡調整会議の開催：8/5、11/11、2/24 ・障がい者歯科協力医の周知。	・障がい者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。
	かかりつけ歯科での定期管理の重要性について普及啓発	・障害福祉サービス事業所の利用者	・かかりつけ歯科での定期管理を習慣化するための普及啓発を行う。	・普及啓発の手段として施設を訪問して歯科健診を実施。 ・新型コロナウイルスの拡大防止のためチェックリストを作成し試用。	・かかりつけ歯科での定期管理の定着を目指し、歯周病検診のPRも併せて行う。
	歯科医療従事者の資質向上	・歯科医療関係者	・障がい者の歯科診療に必要な技術の实地研修及び講義 ・外部講師を招聘しての講演	・年間8回開催 ・外部講師の講演 3月17日 19人参加	・地域での障がい者歯科医療の充実を図る。
障害保健福祉課	・歯科保健医療の普及啓発 ・障害者差別解消法の歯科医療関係者への理解の促進	・障がいのある人 その家族 ・歯科医療関係者	・各区役所に「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシ等をおき、歯科保健医療提供体制を周知する。 ・歯科医療関係者に対し、障害者差別解消法の理念及び内容の理解促進を図る。	・障害保健福祉課、各区役所社会福祉課窓口に「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシを設置 ・医療的ケア児の介護者養成研修の際に「医療的ケア児等への口腔ケア」についての講演の実施	障害者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」の周知に取り組む。 ・各区社会福祉課窓口でのチラシの配架 ・障害保健福祉施策連絡会等での説明 ・歯と口の健康フェスタ等において障害者差別解消法パンフレットの提供
病院管理課：浜松医療センター	障がい者（児）歯科診療	一般の歯科診療所で歯科治療が困難な障がいのある人	・「障がい者歯科協力歯科医院」と連携して歯科診療を行う。 ・全身麻酔による集中歯科診療を行う。	・浜松医療センター歯科口腔外科において、週1日、特殊歯科外来を実施	引き続き、「浜松市歯科医師会」「障がい歯科協力歯科医院」と連携を図りながら、歯科診療を行っている。

(2) 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

災害時の歯科口腔保健医療

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
健康医療課 健康増進課	浜松市医療救護対策委員会における災害時歯科医療の検討	医療関係者 ほか	災害時における医療救護対策(緊急歯科医療)、健康支援対策(口腔ケア)などについて調査研究を行う。	・第1回：令和3年8月19日	・第1回：令和4年8月上旬(予定) ・第2回：令和4年11月上旬(予定) ・第3回：令和5年3月上旬(予定)
健康増進課	災害時歯科衛生士ボランティアの募集及研修会の開催	歯科衛生士	災害時、避難所等で活動いただける歯科衛生士ボランティアを募集する。また、ボランティア登録者等に対し研修を行い、有事の際に活動いただける人材の育成を目指す。	・ボランティア登録者：35名(令和元年度末時点)	災害時歯科衛生士ボランティア募集と研修会の実施を検討する。

(3) その他

担当課	取組	対象	内容	R3年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R4年度以降の取組や今後の方向性等)
保健総務課	医療相談	市民	医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の苦情・相談に対して、中立的な立場で対応する。	・相談件数：1,092件(うち、歯科に関する相談：44件)	引き続き、医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の苦情・相談に対応していく。
子育て支援課	要保護児童対策地域協議会	児童虐待防止に関わる関係団体	児童虐待防止に向け、庁内外の関係機関の代表者による実務の円滑な運営体制整備を目的に、情報交換等を実施する。	・要保護児童対策代表者会議開催 第1回 令和3年9月(新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催) 第2回 令和4年3月16日 関係機関代表者として歯科医師会代表者出席	児童虐待防止に向け、歯科診療における虐待早期発見、通告先の情報共有等を行う。
健康増進課 (健康推進G)	歯科口腔保健推進条例と計画の周知 歯と口の健康づくりに関する啓発	一般市民	生活習慣病予防、歯と口の健康づくりに関する啓発を実施	・各健康教育にて健康増進計画等をPR。	引き続き健康増進計画等のPRに努める。

4、歯科保健の推進に関する委員のご意見

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスボランティア活動連絡会)	安藤委員 (浜松民間保育園長会)
令和3年度取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 勤務先の法人内通所介護事業所において、近隣の歯科医師の協力を得て歯科相談を行ったところ、利用者53名が歯科相談を受け、うち10名が歯科受診を希望し、9名が実際に受診した。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、コロナ感染防止のため、勉強会や保護者会の開催を見合わせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な総会やステップアップセミナー等、大勢が集まる行事は令和3年度も中止となった。 連絡会の会議は2回のみ開催した。 地域中心のサロンも保健師と相談の上、自粛で休みとしたり、短時間の集まり（少し体を動かしたり、手の動きをよくする折り紙等）に変更した。 例年通り、保健師の話やボランティアの人たちによる腹話術や和太鼓当て楽しい時間を過ごした。 	<ul style="list-style-type: none"> 市のフッ素事業について、会員園に周知し率先して実施している。 保護者への啓発紙の配布 浜松市歯科調査及び5歳児歯科調査の協力。 上記歯科調査の結果を保護者に周知 市の出前講座(かむかむ元気教室)を依頼し、園児の歯科健康の意識の向上を図る。

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	安藤委員 (浜松民間保育園長会)
令和4年度の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ歯科医を持たない高齢者、歯科受診をしていない高齢者に向けて歯科受診に繋がる声かけや啓蒙活動を行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、新規入会の会員に「しずおかサポートファイル」の配布説明会の際に、定期的に歯科を受診するよう勧めている。特に幼児期から、かかりつけ歯科医を持つよう、引き続きはたらきかけていきたい。 ・家庭でできる事の一つとして、毎日の仕上げ磨きについて、歯科医師からのワンポイントアドバイスなどを、当会の会報などに掲載したいと考えている。 ・歯周病予防について、歯科医師会のご協力を得られれば、保護者だけでなく、支援者向けに、「障がいのある人の口腔ケア」についての講演をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者サロンは月1回の開催を予定（保健師、栄養士、歯科衛生士を予定） ・園芸やそのほか折り紙で干支を計画 ・協同センターの子ども講座の手伝い等も計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員園に参加した会議の内容などを共有するよう努める。 ・園児の3歳児歯科検診の受診を勧奨する。 ・市の歯と口の健康づくりに関する出前講座の利用を促進する。

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	安藤委員 (浜松民間保育園長会)
市や専門団体をお願いしたいこと	<p>・例えば歯周病検診等が歯科受診のきっかけとなってかかりつけ医を作ることができるよう、ケアマネや介護サービス事業所から利用者へ啓蒙できれば。歯周病検診について認知度を高めるため、周知チラシがあると良い。</p>	<p>障がい者歯科協力歯科医院の歯科医療従事者の皆様に、障がいのある子どもを連れて歯科を受診する親の立場から、親子共々受診前からの不安がある事や治療の際の対応などでお願いしたい事がある親がたくさんいる事を知っていただきたい。改めて知的障がいの特性を理解していただけるよう、お話をさせていただく機会を頂きたい。</p>	<p>・オーラルフレイルについてくわしく知りたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・噛む力、飲み込む力の育みの大切さを保護者に伝えていきたい。 ・離乳食の大切さ、歯が生えてからの食事について理解していない保護者(職員も)に対する啓発。 ・よだれが出ない子どもが増えてきている。 ・よだれに関しても、言語に関してもマスク生活により模倣する機会がなくなってきているのか…。 ・歯科検診の結果を見てもむし歯自体はなくなって(減って)きているが噛む力、飲み込む力が弱くなってきている。

5 令和4年度歯科保健事業計画

(既存事業の改変、拡充、新規事業等)

(1) 歯科健診及び健康教育

2歳児歯科健診

健診時に、「口を育む教室」を希望者に実施（令和4年4月から変更）。

[内容]

- ・口の機能低下に関し、低年齢からの啓発が必要と考え、口の機能の発達・発育についての講話や、口を使って遊ぶ玩具を親子で作る教室を実施。

[期待される成果]

- ・低年齢から、口腔機能を意識することで、将来のオーラルフレイルへの意識に繋がるものと期待される。

[課題]

健診は全員に実施、希望性で教室ありと教室なしで分けているが、教室を希望する方が多く、予約が入りにくい現状である。そのため、教室ありの予約枠を増やし、対応することを検討している。

(2) オーラルフレイル対策の推進

「健康長寿のための口の健康づくり訪問」

- ・対象者は令和3年度の試行と同じく、後期高齢者医療広域連合の高齢者健康診査質問票で口の機能低下が窺われ、かつ、歯科の診療報酬請求がなかった者
- ・歯と口の健康状態を把握するためのアンケートを実施する際に、回収率向上のため、返送用の封筒を同封する。
- ・フレイル予防には適切な栄養摂取と社会参加が重要であるため、希望者を訪問し歯科保健相談を行う際に歯科医療機関への受診勧奨をするほかにも、低栄養状態を防ぐため食事アドバイスや通いの場の紹介をするなど、高齢者の健康維持を支援する試みを行う。

(3) 浜松市歯科口腔保健推進計画の評価

- ・歯科口腔保健推進計画、健康増進計画、食育推進計画の評価のため市民アンケート調査を実施する。また、国の歯科疾患実態調査の対象者にも追加の調査を行う。
(令和3年度の歯科疾患実態調査は中止されたため、あらためて実施するもの)
- ・国の「歯科口腔保健の推進に関する専門委員会」が「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の最終評価報告書を令和4年7月頃にとりまとめる予定である。当該専門委員会の議論を参考に、浜松市歯科口腔保健推進計画の評価を行い、令和5年度中に次期計画を策定することができるように準備をする。

浜松市歯科口腔保健推進計画の期間延長と評価について

1 概要

- ・浜松市歯科口腔保健推進計画（以下、歯科計画という）の計画期間を令和 5(2023)年度までに 1 年間延長する。
- ・歯科計画は、令和 4（2022）年度に最終評価を行い、令和 5 年度は次期計画の検討と策定を行う。次期計画の適用は令和 6(2024)年度からとする。

2 計画終期の延長

- ・歯科計画は、国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」（以下、基本的事項という）を参考に、平成 26（2014）年度から令和 4（2022）年度までの計画として策定された。
- ・国は、『「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の目標・計画の達成時期等について（通知）」（令和 3 年 9 月 7 日付け、医政発 0907 第 2 号）により、目標・計画の期間を 1 年間延長し令和 5（2023）年度とすること、令和 5 年度に次期計画を策定し、その適用は令和 6（2024）年度とすることとした。
- ・この通知に基づき、歯科計画の終期と次期計画の策定期間を改める。

年度	国：基本的事項	市：歯科計画
H30 (2018)	中間評価と一部見直し	中間評価と一部見直し
R4 (2022)	最終評価 次期基本的事項の策定と公表	最終評価
R5 (2023)	-	次期計画の策定と公表
R6 (2024)	次期基本的事項の実施	次期歯科計画の実施

3 歯科計画の評価方法

1) 目標に対する実績値の評価

各目標の具体的指標の実績値を評価、関連する取組状況を踏まえた分析

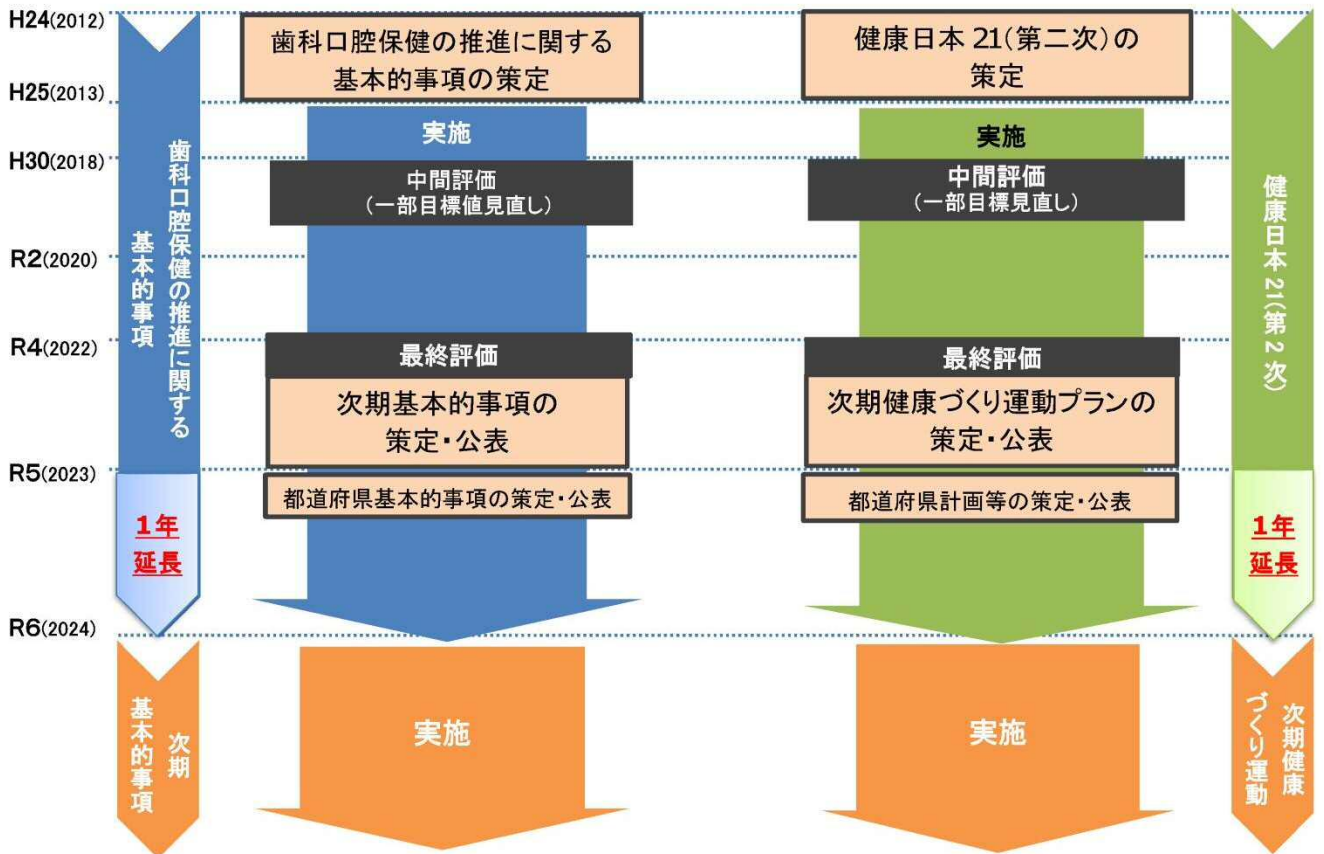
2) 諸活動の成果の評価

市、団体等の取組（成果）の評価

3) 歯科計画の総合的な評価と次期歯科計画に向けての課題整理

1)、2) を踏まえた総括的な評価

「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」及び「健康日本 21（第二次）」
の最終評価と次期健康づくり運動の展開に関するスケジュール



健康増進計画等の評価における健康調査（市民アンケート）について

1 現プランの概要

「健康はままつ 21（第 2 次）」「浜松市歯科口腔保健推進計画」「第 3 次浜松市食育推進計画」に基づき、健康づくり活動を推進している。

<計画期間>

計画名	計画期間	備考
健康はままつ 21（第 2 次）	平成 25 年度～令和 5 年度	平成 29 年度に中間評価実施
浜松市歯科口腔保健推進計画	平成 26 年度～令和 5 年度	平成 29 年度に中間評価実施
第 3 次浜松市食育推進計画	平成 30 年度～令和 5 年度	

※上記三計画について、健康日本 21 の計画期間延長を受け、終期を 1 年間延長した。

(1) 各計画の施策体系

ア 健康はままつ 21（第 2 次）

基本理念	目標	重点施策（後期計画）	分野
市民一人ひとりが生きがいを持ち、いきいきと生活できる 健康都市 浜松	健康寿命の延伸	生活習慣病の発症予防と重症化予防	【分野 1】いきいき健康づくり
	生活の質の向上		【分野 2】生活習慣病の予防
	子どもの健やかな成長	健康を守り支えるための環境整備	【分野 3】栄養・食生活 【分野 4】運動 【分野 5】こころの健康 【分野 6】たばこ 【分野 7】アルコール/薬物 【分野 8】歯の健康 【分野 9】親子の健康

イ 浜松市歯科口腔保健推進計画

基本方針	基本戦略	重点施策（後期計画）
市民一人ひとりが生涯にわたり歯と口の健康を保持増進する	市民一人ひとりが生涯にわたり、歯と口の健康の保持増進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔機能に着目した口腔成育の推進 ●健康づくりに関心の低い働き盛り世代に対する歯周病予防対策の推進 ●健康寿命の延伸に向けた口の機能低下を予防する対策の推進
	定期的に歯科検診を受けることにより、歯と口の健康の保持増進を図る	
	保健、医療、社会福祉、介護、教育、労働衛生関係者等が連携することにより、総合的に歯と口の健康の保持増進を図る	

ウ 第3次浜松市食育推進計画

基本理念	目標	方向性と取り組み
市民一人ひとりが 健やかな食生活を実践し、生きる力を 共に育む	食を通じた 健康づくり	【重点】望ましい食習慣の定着 ①生活習慣病の発症予防と重症化予防 ②生涯を通じた食育の推進 ③若い世代を中心とした食育の推進 ④食べ方を中心とした健康づくりの推進
	食に関する 環境づくり	連携と協力体制の強化 ①企業、団体と連携した食育の推進 ②食育を推進する人材の育成
	豊かな食と 食の大切さの推進	食の大切さとコミュニケーションの充実 ①共食等によるおいしさ、楽しさの充実 ②地産地消の推進 ③食文化の継承 ④環境にやさしい食生活の推進 ⑤食の安全・安心の推進

2 最終評価及び次期プラン策定に当たっての健康調査（市民アンケート）について

（令和4年度当初予算 3,285千円（委託料））

（1）調査対象 住民基本台帳から無作為抽出により市内在住の男女6,000人

対象		対象者数（人）
乳幼児・学童期	0～12歳の保護者	1,000人
思春期	13～19歳	1,000人
青年期・壮年期	20～44歳	1,000人
中年期	45～64歳	1,000人
高齢期Ⅰ	65～74歳	1,000人
高齢期Ⅱ	75歳～	1,000人
計		6,000人

（2）調査期間 令和4年9月～10月（予定）

（3）調査方法 民間の事業者に委託

対象者に調査票を郵送し、回収（郵送もしくはWeb回答）された調査票を集計し、現プランの最終評価及び次期プランに反映させるための各種分析を行う。

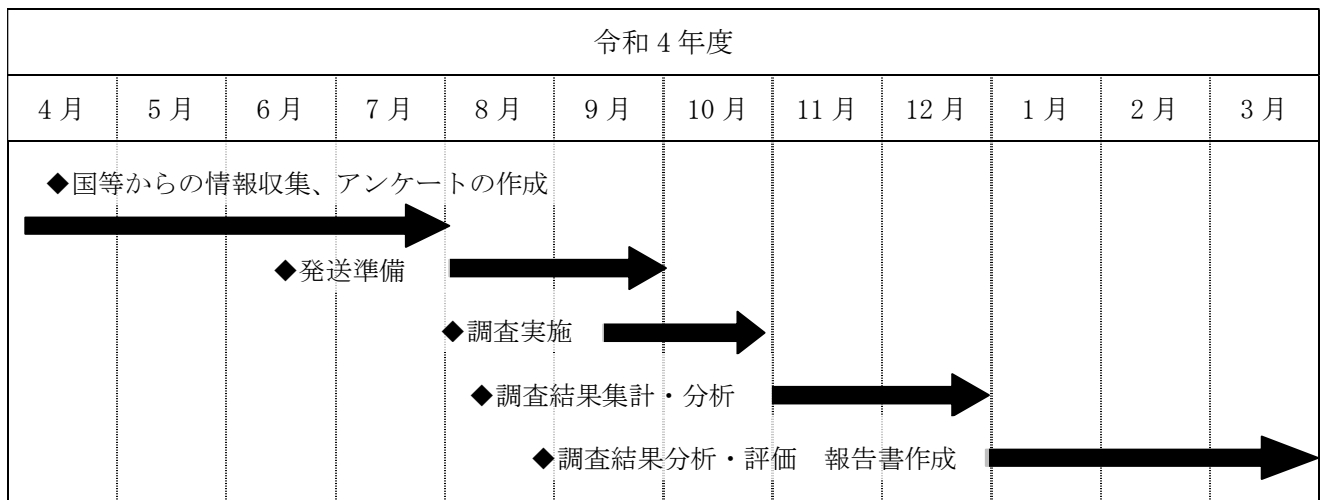
(4) 設問項目数

設問分野	幼児 学童期	思春期	青年期 壮年期	中年期	高齢期 I	高齢期 II
基本情報 (年齢・性別等)	7	7	7	7	7	7
からだ関係	0	1	7	6	7	7
歯	2	2	5	4	5	5
たばこ	6	6	8	6	6	6
栄養・食事	4	3	12	12	12	12
こころ	0	1	6	5	1	1
子育て	8	6	5	5	5	5
運動	0	0	5	5	4	4
アルコール	0	1	2	2	2	2
コロナ関係その他	2	1	11	11	11	11
計	29	28	68	63	60	60

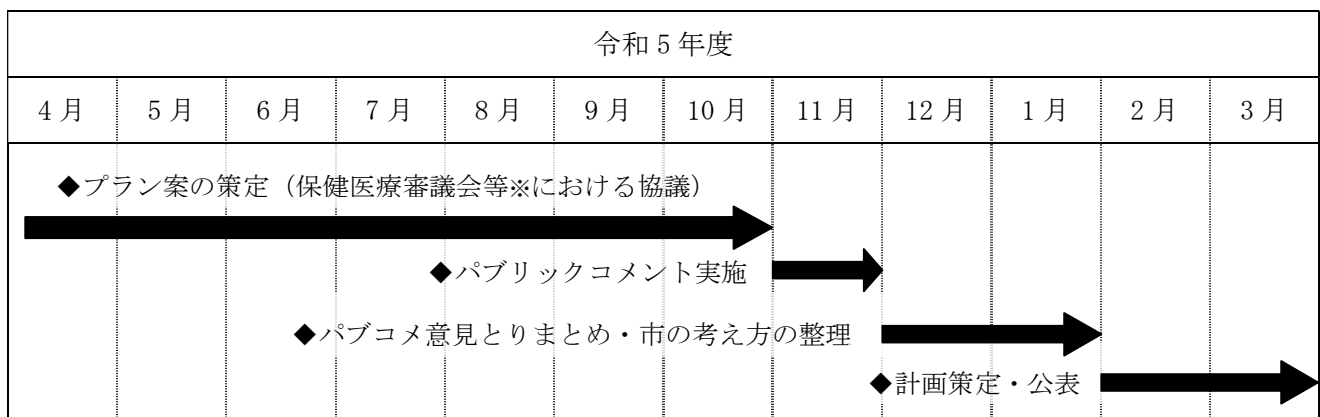
(5) 設問内容 別紙「アンケート設問内容一覧」

3 スケジュール（予定）

(1) 最終評価（令和4年度）



(2) 次期計画策定（令和5年度）



※母子保健推進会議、歯科保健推進会議、食育推進連絡会

	設問	選択肢	幼児・学童期(1～12)	思春期(13～19)	青年期・壮年期(20～44)	中年期(45～64)	高齢期(65～74)	高齢期(75～)	計画			
									健康はままつ21	食育推進計画	歯科口腔保健推進計画	
歯	あなたは、お子さんの歯の健康を守るために何か気をつけていることはありますか。	1 定期的に歯科検診を受けさせている(学校や園での検診は除く) 2 毎日歯を磨いたり、磨かせたりしている 3 よくかんで食べるようにさせている 4 フッ素入り歯磨剤を使わせている 5 フッ素塗布を受けさせている 6 歯と歯の間を磨く器具(糸つきようじ)を使ったり、使わせたりしている 7 砂糖などが入った飲食物を頻回に飲食させないようにしている 8 時間を決めて飲食させている 9 その他() 10 特になし	○						○		○	
	あなたは、歯の健康を守るために気をつけていることがありますか。	1 定期的に歯科検診を受けている 2 歯科医院で定期的な歯の掃除(歯石をとることや歯面掃除など)を受けている 3 毎日歯を磨いている 4 時間をかけて磨いている 5 よくかんで食べている 6 フッ素入り歯磨剤を使っている 7 フッ素塗布を受けている 8 歯と歯の間を磨く器具(糸つきようじや歯間ブラシなど)を使用している 9 砂糖などが入った飲食物をなるべく避けている 10 たばこを吸わない 11 その他() 12 特になし		○	○	○	○	○	○		○	
	新 「オーラルフレイル」という言葉を知っていますか。	1 知っている 2 知らない 3 聞いたことがある	○	○	○	○	○	○				
	あなたは、食べ物をかんで食べる時、どんな状態ですか。	1 何でもかんで食べることができる 2 一部かめない食べ物がある 3 かめない食べ物が多い 4 かんで食べることはできない				○	○	○	○			○
	あなたは、今までに失った(抜いた)歯がありますか。(親知らずと歯科矯正で抜いた場合は除きます。)	1 ある 2 ない				○						
	あなたは、治療が必要なむし歯(穴があいたまま、つめ物が取れている等)がありますか。	1 ある 2 ない				○						
	自分の歯は何本ありますか。(歯は親知らずを入れると32本あります。入れ歯とインプラントは除きますが、さし歯・冠をかぶせた歯・部分的につめてある歯などはすべて自分の歯として数えます。)	(本)					○	○	○	○		○
	あなたは、今までに口の体操(舌を滑らかに動かせるようにする体操、唾を出やすくする唾液腺マッサージ等)をしたことはありますか。	1 ある 2 ない						○	○			

浜松市歯科口腔保健推進計画の概要

- ・「いきいきと暮らせる思いやり共生都市」を実現するために、「生涯にわたる心と身体の健康づくり」の一環として、「歯と口の健康づくり」を推進するための計画(平成 26 年 3 月策定)

※いきいきと暮らせる思いやり共生都市：浜松市総合計画の目標

ライフステージごとの目標

区分	年齢	目標の概要
妊娠期 乳幼児期	～ 5	・歯と口の健康づくりに関し保護者等への啓発 ・むし歯の抑制 ・食べ方、かみ方、のみこみ方の機能発達の支援
学齢期	6～19	・むし歯の抑制 ・歯みがき習慣、望ましい食習慣の習得
成人期	20～64	・歯周病の抑制 ・全身の健康づくりを視野に入れた歯の健康づくりの啓発
高齢期	65～	・80 歳で 20 本以上の歯がある人の割合の増加 ・歯科訪問診療等の訪問サービス制度の周知 ・歯科医療と介護サービスとの連携促進 ・口腔機能低下（オーラルフレイル）に関する知識の普及

※ 全年齢を通じて、かかりつけ歯科において定期管理を受診することを勧奨

※ 障害の有無に関わらず同じ目標とし、かかりつけ歯科における定期管理を推奨

※ 大規模災害発生時における健康支援活動

基本戦略

- (1) 市民の取り組み
市民一人ひとりが自分で健康管理を実践
- (2) 専門家の取り組み
かかりつけ歯科による定期管理
- (3) 社会の環境整備
歯と口の健康づくりに取り組みやすい体制づくり

後期計画（平成 30 年度～令和 4 年度まで）の重点施策

- (1) 口腔機能に着目した口腔成育の推進
- (2) 健康づくりに関心の低い働きざかり世代に対する歯周病予防対策の推進
- (3) 健康寿命の延伸に向けた歯と口の機能低下を予防する対策の推進

歯科口腔保健推進計画の目標値

下線で示す数値は中間評価で再設定した値

指 標	対 象	H23年度 基準値	H28年度 実績値	H29年度 中間目標値	R4年度 最終目標値
-----	-----	--------------	--------------	----------------	---------------

(1) 妊娠期・乳幼児期

妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	---	43.1%	<u>40.0%</u>	<u>50.0%</u>
むし歯の本数	3歳児	0.36本	0.30本	<u>0.3本</u>	減少
	5歳児（年長児）	1.70本	1.24本	<u>1.5本</u>	<u>1.2本</u>
フッ化物塗布を受ける子どもの割合	1～6歳	52.2%	53.4%	55.0%	60.0%
フッ化物洗口を実施する幼・保・こども園の数	幼・保・こ	82園	99園	<u>95園</u>	<u>105園</u>

(2) 学齢期

むし歯の本数	12歳児（小6）	0.75本	0.47本	<u>0.7本</u>	減少
	15歳児（中3）	1.36本	0.98本	<u>1.1本</u>	<u>0.9本</u>
フッ化物塗布を受ける子どもの割合	7～12歳	21.8%	42.5%	<u>25.0%</u>	増加
定期的に歯科検診を受ける人の割合	7～12歳	40.2%	54.8%	<u>45.0%</u>	増加
	13～19歳	18.3%	19.9%	22.0%	25.0%

(3) 成人期

歯肉炎・歯周炎を有する人の割合	20～29歳 (保護者歯科検診受診者)	40.4%	45.5%	35.0%	30.0%
進行した歯周炎を有する人の割合	40～49歳 (歯周病検診受診者)	39.4%	39.7%	37.0%	35.0%
	60～69歳 (歯周病検診受診者)	56.3%	53.8%	50.0%	45.0%
歯間ブラシや糸つきようじの使用率	35～64歳	33.6%	43.8%	<u>37.0%</u>	増加
定期的に歯科検診を受ける人の割合	20～64歳	21.6%	31.2%	<u>25.0%</u>	<u>50.0%</u>
	保護者歯科健診受診者	28.0%	34.0%	35.0%	40.0%
自分の歯の本数	60～64歳	25.5本	25.0本	26.0本	27.0本
24本以上の歯を有する人の割合	60～64歳	76.8%	75.2%	80.0%	85.0%

(4) 高齢期

自分の歯の本数	70～74歳	20.4本	22.6本	<u>22.0本</u>	<u>24.0本</u>
	80～84歳	15.7本	14.6本	18.0本	20.0本
	85歳以上	10.4本	12.8本	13.0本	15.0本
20本以上の歯を有する人の割合	80～84歳	47.6%	32.5%	55.0%	60.0%
定期的に歯科検診を受ける人の割合	65歳以上	---	32.3%	---	50.0%
咀嚼が良好な人の割合	65歳以上	---	69.7%	---	増加

(5) 障がい者の歯科

定期的に歯科受診している人の割合	障がい者施設歯科健診 受診者	46.8%	54.5%	55.0%	60.0%
------------------	-------------------	-------	-------	-------	-------

(参考)

「歯科口腔保健の推進に関する基本的項目」（国）にあるが、浜松市歯科口腔保健推進計画にない指標

- ・3歳児・12歳児でむし歯のない者の増加（90%・65%）
- ・3歳児での不正咬合等が認められる者の減少（10%）
- ・過去1年間に歯科健診を受診した者の増加（65%）
- ・60歳代における咀嚼良好者の増加（80%）
- ・40歳の未処置歯を有する者の減少・喪失歯のない者の増加
- ・60歳の未処置歯を有する者の減少
- ・要介護高齢者の定期歯科検診実施率